



CIEC コンピュータ利用教育学会 発表決定！ ～SGH クラブ海外班のマレーシア高校生との協働研究から～

教育と学びにおけるコンピュータやネットワークの利用方法を研究し、その成果を広く伝えることを目的とした学会である、表題のコンピュータ利用教育学会の春季カンファレンス2021で、佐野高校SGHクラブ海外班の3名が、これまでの研究成果を発表することになりました。

発表生徒は、**山崎 彩加** さん(1の1)、**飯塚 莉子** さん(1の2)、**岸 愛梨** さん(1の3)の3名の1年生です。

■学会発表の日時等

日時 令和2(2021)年3月20(土)、21(日)
会場 前は甲南大学・岡本キャンパス(兵庫県神戸市)で
開催されましたが、今回は on-line 開催となりました。

■研究手法、研究テーマ

上記の3人は、これまでマレーシア・サラワク州クチン市にある中高一貫教育校のセントテレサ校の高校2年生3名と、画面对話型アプリであるZoomや、メッセージアプリであるテレグラムを使って、on-lineでの協働研究を週2回(1回2時間程度)の頻度で重ねてきました。

このように、コロナ禍の中で、マレーシアには行けなかったけれども、コンピュータ機器を使ってマレーシアの高校生と協働研究を実現しました。この研究方法を、論文にまとめて上記学会に投稿したところ、採用されました。

研究テーマはもともとジェンダー問題の解決でした。しかし、マレーシアの高校生の発信力の高さを目の当たりにしました。そこで、Zoomのレコーディング機能を活かしたmp4やテレグラムのテキストを詳細に分析する研究を通して、日本人の国際会議での発信力、存在感のなさ(佐野高校SGH統括アドバイザーの小松俊明教授の講評より)の原因と解決策を追究しました。



マレーシアの高校生の発言のテキストを丁寧に分析しました

表情の使い方や間の取り方など、非言語力を分析しました。

- 私たちの研究の成果を発表することができるこの機会を良いものに出るよう、精一杯頑張りたいと思います。(山崎彩加さん)
- 研究結果を存分に発揮できるよう今後も準備を重ね、私たちの伝えたいことがしっかり伝わるような発表にしたいです(飯塚莉子さん)
- この後も、マレーシアの3人の友人とともに、ジェンダー問題の解決のためのInstagramを充実させようと思います(岸愛梨さん)

